

第二十七回帝國議會
衆議院

商法中改正法律案外二件委員會會議錄(速記)第六回

會議

明治四十四年三月十七日午後一時三十分開議

出席委員左ノ如シ

鳩山 和夫君

宮古 啓三郎君

菊池

侃二君

小川 平吉君

翠川 鐵三君

渡邊

修君

長島 賢太郎君

鵜澤 總明君

山本

悌二郎君

松田 源治君

戸水 寛八君

齋藤

二郎君

片岡 直温君

關 直彦君

守屋

此助君

藤代 市之輔君

高木 益太郎君

森

肇君

鈴木 總兵衛君

木村 省吾君

花井

卓藏君

加瀬 禰逸君

委員中野武營君辭任ニ付三月十一日其ノ補闕トシテ岩下清周君ヲ議長ニ於テ選舉セリ

出席國務大臣左ノ如シ

司法大臣 子爵岡部 長職君

出席政府委員左ノ如シ

司法次官法學博士 河村讓三郎君

司法省參事 齋藤十一郎君

司法省參事官 山内確三郎君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

商法中改正法律案

商法施行法中改正法律案

非訟事件手續法中改正法律案

○委員長(法學博士鳩山和夫君) 是ヨリ商法中改正法律案外二件ニ付テ、特別委員會ヲ開會致シマス、此特別委員會カラ更ニ特別調査委員ニ付託セラレマシタカラ、其特別調査會ノ結果ヲ茲ニ御報告致シマス、特別調査會ハ數回開會シマシテ逐條ニ互ニ質問ヲ致シ、修正動議モ出マシテ、ソレカラ元ニ戻ッテ修正意見ノアル場所ニ付テ審議討論ヲ致シマシテ、遂ニ意見ヲ確定シタノデアリマス、其結果ハ唯今御手許ニ配付ニナッテ居リテアリマス——是カラ私ハ特別委員會ノ委員長トシテ會ヲ整理シテ參ル積リデアリマスガ、此特別調査委員會カラ報告ニナリマシタモノヲ議題トシテ決定シタイト思ヒマスガ、如何デスカ

(異議ナシ)「ト呼フ者アリ」

○委員長(法學博士鳩山和夫君) 御異議ガナケレバサウ云フコトニ致シマシテ、其他ノ條文ニ付テ御意見ガアレバ後トカラ出スコトヲ許スコトニ致シマス、尙此中デ第五章ニ

於テ特別調査會ハ第二十七條ノ二トシテ一項ヲ加ヘルト云フ意見デアリマス

○小川平吉君 第二十六條ニ付テ政府委員ノ言明ヲ伺ヒマス

○委員長(法學博士鳩山和夫君) 先ツ第二十六條ニ付テ特別調査會ニ於テハ別ニ修正意見ハアリマセヌケレドモ、其解釋ニ付テ議論ガアリマシテ、政府委員ノ言明ヲ求メテ置クコトニナリマシタ、此場合ソレヲ伺ヒマス

○政府委員(法學博士齋藤十一郎君) 唯今御示シナリマシタ二十六條ノ第二項ニ「財産目録ハ動産ハ幾ラ債權ハ幾ラトス様ニ價額ヲ付シテ之ヲ記載スルコトヲ要ス」トゴザイマス、財産ニ價額ヲ付シテ記載スルコト云フ文字ノ意味ハ、財産ヲ總括致シマシテ、動産ハ幾ラハ動産ハ幾ラ債權ハ幾ラトス様ニ價額ヲ記載スル趣意デアルカ、ソレデナク個々ノ財産ノ價額ヲ記載スル意味デアルカ否ヤ、個々ノ動産、個々ノ不動産、個々ノ債權ノ價額ヲ記載スル意味デアルカ、其點ニ付テ疑問ガアルノデアリマス、政府ノ解釋ト致シマシテハ價額ヲ付スルハ個々ノ財産ニ付テ一ツツ價額ヲ附スルノガ正解デアルト致シテ居ルノデアリマス、此段明言致シテ置キマス

○鈴木總兵衛君 唯今言明セラレマシタ趣意ニ依ルト、財産目録ハ會社デモ銀行デモ、半季々々ノ報告ノトキニ財産目録ヲ報告ヲ總會ニ添ヘテ出スコトニナル、之ニ向ッテ一々出スコトニナルト非常ニ手數ヲ要スル、又貸借對照表ヲ新聞ニ掲載スルコトニナルト、無用ノ費用ヲ要シマスガ、此等ニ付テハ便宜上此場合ニ限ッテ總額ヲ記載シテ宜イノデスカ、ソレモ一々記載スルノデアリマスカ

○政府委員(法學博士齋藤十一郎君) 會社ガ株主ニ總會ノ通知ヲ致シマストキニハ、財産目録ハ通知書ニ記載シナイコト、承知シテ居リマス、ソレカラ總會後ニ會社ガ公告ヲ致シマスノハ、貸借對照表デケデアリマスカラ、唯今御質問ノヤウナ御心配ハナイコト、存ジマス

○長島賢太郎君 第二十七條ノ二ニ付テ簡單ニ理由ヲ述ベテ置キタイト思ヒマス、從來商業帳簿ガ訴訟ニナッテ居ル場合ニ、相手方ガ會社ノ商業帳簿ヲ提出ヲ求メル規定ガ不完全デアル、現行ノ民事訴訟法ニ係爭中ノ相手方ニ證據ヲ提出ヲ求メル規定ハアリマスケレドモ、其條件ガ限ラレテアルノデアリマス、所謂雙方協定ノ場合デアルトカ、或ハ民法ノ規定ニ依テ提出ノ義務アル場合デアルトカニ限ラレテ居ル故ニ、實際ニ於テ係爭中ニ相手方ノ商業帳簿ヲ提出ヲ求ムルコトガ極メテ困難デアル、舊商法ノ二十七條ニ於テハ、ヤハリ係爭中相手方會社ノ商業帳簿ヲ提出ヲ求ムルコトノ出來ル規定ガアツタケレドモ、現行商法ニ於テハ削ラレテアル、然ルニ我ト法系ヲ同ジウスル獨逸商法ナドニハ、ヤハリ商法中ニ訴訟係爭中ニ於テ相手方ノ商業帳簿ヲ提出ヲ求ムル規定ガアル、故ニ實際ノ不便ヲ避クルタメニハ、第二十七條ノ二ノ商業帳簿ヲ提出ヲ求ムル場合ヲ規定スル必要ガアラウト思フ、此事ハ實際カラ成立ッテ居ルトコロ、辯護士協會ニ於テモ、同様ナ希望モアルノデアリマスカラ、此ノ如ク修正アラントコトヲ希望スル次第デアリマス

○委員長(法學博士鳩山和夫君) 第二十七條ノ二トシテ一項加ヘルコトニ御異議アリマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○委員長(法學博士鳩山和夫君) ツレデハ其通り決定致シマス、次ハ第五十一條
○長島繁太郎君 五十一條第一項ノ七ヲ「數人ノ社員共同シ又ハ社員支配人共同シテ會社ヲ代表スヘキコトヲ定メタルトキハ其代表ニ關スル規定」斯様ニ致シタイ、理由ハ今度ノ商法ニ於テ社員が共同シテ會社ヲ代表スル場合ノ規定ガアリマスケレドモ、實際ニ於テハ支配人社員共同スルト云フコトモ必要ガアリマス故ニ、此五十一條ヲ此ノ如ク訂正シタイと思ヒマス

○委員長(法學博士鳩山和夫君) 御異議ハアリマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○委員長(法學博士鳩山和夫君) 其通り決定致シマス
○加瀬禧逸君 四十四條ノ二ニ付テ意見ヲ明確ニシテ置キタイと思ヒマス、四十四條ノ二「會社ハ他ノ會社ノ無限責任社員トナルコトヲ得ス」トアリマスルガ、發起人トカ或ハ取締役トカ監査役トカ云フモノニナルコトハ出來ヌト云フマデ言及シテ居リマセヌ、併シ是ハ當然爲ス能ハザルコトデ、別段明文ヲ置イテナスコトガ出來ヌト云フ趣意デアラウト思ヒマス、多クノ裁判所ナドニ於テハ現ニ發起人トシテ妨ゲナイト云フ意見ヲ持ッテ居ル裁判所モアリマス、此立法ノ趣旨ニ於テハ記載セヌデモ、此ノ如キハ當然出來ヌト云フコトナラバ、明言ヲ得テ置キタイと思ヒマス

○政府委員(法學博士齋藤十一郎君) 唯今御尋ノ點ハ全ク御意見ノ通りデアリマス

○委員長(法學博士鳩山和夫君) ツレデハ次ハ第六十一條

○長島繁太郎君 是ハ五十一條同一ノ趣意ヲ以テ修正致シマス

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○委員長(法學博士鳩山和夫君) ツレデハ其通り決定致シマス、次ハ報告ノ中ノ第二百二十條中第五號ヲ削リ、第六號ヲ第五號トシ以下順次繰上グ、又其次ノ第二百二十一條中第五號乃至第七號ヲ第五號及第六號ニ改ム、ツレカラ第四百四十一條中ノ改正並ニ第四百四十五條、是デケ一括シテ議題ニ供シマス

○松田源治君 此政府ノ現行法ニ向テ修正シタノヲ復活シタイ、理由ハ即チ一時ニ株金ノ全額ヲ拂込ムベキモノニ限リ二十圓マデ下スコトヲ得ルト云フ復活ノ理由ヲ簡單ニ申述ベマス、政府ガ此但書ヲ削除シタル理由ハ投機心ヲ増スト云フコトデアルケレドモ二十圓券ヲ全部拂込シタモノニシテ置ケバ、却テ株主ハ全部拂込ノ株券ナルガ故ニ、拂込ノ義務ガナイタメニ轉々スルニ付テモ容易ニナルシ、持ッテ居ル人も危險ノ程度ガ減ル譯デアリシ、且二十圓券ハ金ガ少ナクテ投機心ヲ増スト申シマスルケレドモ、二十圓ノハ全部拂込デナケレバ發行ヲ許サヌガ、五十圓券ハ四分ノ一拂込ヲ以テ許スカラ、却テ十二圓五十圓拂込シタモノノ後ノ義務ハ念頭ニナク、投機心ヲ持ッテ居ル人ハ株ヲ持ッノガ今日ノ狀態ニナッテ居ルカラ、却テ五十圓ノ四分ノ一拂込ニ付テ投機心ヲ増ス憂ガアルト考ヘマス、是ハ現行法ノ通り全部拂込ヲスル時分ニ於テハ、二十圓券ヲ以テ株式

トスルコトヲ許シタ方が、今日ノ經濟界ノ狀態ニ適切ナルモノト認メマスカラシテ、但書削除ヲ復活ノ修正意見ヲ出ス譯デゴザイマス

○委員長(法學博士鳩山和夫君) 今松田君ノ發議ニ異議アリマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○委員長(法學博士鳩山和夫君) 其他ハ整理ノ結果デゴザイマスカラ、異議ハアリマスマイ

(「無シ」ト呼フ者アリ)

○委員長(法學博士鳩山和夫君) 次ハ第六十四條並ニ二百六十四條ニ左ノ一項ヲ加フヲ一括シテ議題トシマス

○宮古啓三郎君 現行法ノ通りニ致シテ差支ナカラウト云フ考デ、此度ノ修正案ハ之ヲ止メルコトニ致シタイト云フ趣意デアリマシテ、委員會ニ於テモサウ極メテ譯デアリマスルガ、其理由ノ大要ヲ申シマスレバ、今日現行ノ通りノヤリ方デ別段ナル差支ガアラウトハ思ハナイ、此改正ノ要旨ハ人材ヲ廣ク採リタイト云フ趣意ニアル如クデアルガ、併ナガラ會社ニ對シテ最モ親切ナルモノハ株主デナケレバナラヌ、株主ガ取締デアッタナラバ從ッテ親切ナルヤリ方ヲスルコトガ出來ル、責任ヲ持ット云フコトガ十分出來ルカラ、ヤハリ株主ヲ以テ取締役ニスルコトニ致サウ、殊ニ拂込ノ如キハ一回以後ニ於テハ取締役ニ一任シテ居ルノガ普通デアリマスルガ、是ガ若シ取締役ガ株主デナカッタ時分ニハ、其取締役ハ容易ニ拂込ヲ強要スルコトガ出來ルカラ、斯様ナコトデアルト、株主ハ甚ダ安心ガナラヌカラ元ノ通りニシテ置キタイ趣意カラ出タ譯デゴザイマス

○法學博士花井卓藏君 反對ノ意見ヲ述ベマス、成程宮古君ノ御説ノ如ク六百六十四條ノ法文ガ讀シテ字ノ如ク、實際ニ於テ行ハレテ居リマセヌ、現在ノ株式會社ノ狀態ヲ見マスルト云フト、法文ハ細工ノタメニ傷ケラレテ居ルト云フコトハ爭フベカラザル事實デアル、守屋君モ何レカ會ニ於テ御演説ニナリマシタガ、株主ノ中ニ於テ最モ多クノ株ヲ有シ、而シテ最モ多クノ勢力ヲ有シテ居ルモノハ、自己ガ得ント欲スル投機ノ利益ノタメニ株ノ價格ヲ著シク變動セシメンコトヲ考ヘテ、而シテ會社ノ株ノ利益ト言ハンヨリハ、自己ノ有スル多クノ株ノ上ニ著シキ不當ノ利益ヲ壟斷セント欲シテ、己レノ株ヲ貸與ヘ名義ヲ書換ヘテ、所謂勅任重役高等官重役ト云フヤウナモノヲ持ヘ來ッテ、之ヲシテ其名義ノ下ニ世間ヲ惑惑セント企ルノ例ハ甚ダ少クアリマセヌ、而シテ之ニヨリテ生ズル株主ノ利害ノ影響ハ容易ナラザルモノデアアル、利益ノタメニモ亦不利益ノタメニモ財界ノ攪亂ハ著キモノデアリマス、而シテ常ニ自己本位デ、株主ノ利害財界ノ影響ハ顧ミヌノデアリマス、此自己ヲ益スルト云フコトガ株主ニ對シテ非常ナル打撃デアッテ、小株主ハ大株主ノタメニ彼等ガ株ノ賣買ニ依ッテ益セント欲スル策略ノ爲ニ、株主ナラザルモノ、名ノタメニ蒙ル迷惑ハ甚大デアリマス、例バ幾ラモアル水産事件然リ、日糖事件然リ、鹽合方團ト言ヘル人ハ決シテ正當ナル株主デハナイ、酒匂常明ト言ヘル人モ亦然リデアアル、此ノ如キ實例ハ終ニ刑事事件ヲ惹起シ、而シテ經濟界ニ救フベカラザルノ攪亂ヲ來シタト云フコトハ近ク一昨年若クハ昨年實例ニ徴シテ明カデアアル、是ガタメニ不利益ヲ被ッテ居ル者ハ誰デアアルカ、何モ知ラヌ正直ナル株主ノ多數デアアル、少數ノ株ヲ有スル株主ノ多數デアアル、若シ所謂眞ノ株主デゴザイマシタナラバ會社ヲ思フノ念ガ厚イノデア

ル、眞ノ株主ニ非ザル株主又已レノ株ニ對シテ爲ニスル所アラント欲スル名義上ノ他人ヲ策略ノ用ニ供セント欲スル株主デアル、商法若シ憎ムベキ多クノ株ヲ有シ、且ツカヲ有スル者ノ保護ヲノミ努ムル精神ナレバ格別デアリマスケレドモ、其然ラザルニ於テハ何事モ事實通り正直ニ遣リタイノデス、策略行ハレテ居ル眞ノ百六十四條ノ法ノ意思ヲ事實のニヤリタイノデアリマス、サウシテ株主ヲシテ世間ヲシテ惑ハヌヤウニシタイノデアリマス、依テ私ハ改正案ノ通りニシテ置ク方宜カラウト思フ、況ヤ株主ヨリ選バントセバ株主ヨリモ選バンレ得ルノデアリマス、而シテ此法文ヲ現行法通りニ致シマシテモ、ヤハリ從來ノ例ハ踏マレノデアルカラシテ、サウ云フヤウナコトノナイヤウニ取締役ト云フモノハ株主以外ヨリモ出スコトノ出來ルヤウニ明ニシテ置キタイノデアアル、又商法論トシテ理窟ニモ適フノデアアル、法律ヲ行儀ヨリ行フヤウニシタイト云フノガ私ノ主旨デアリマス、此故ニ反對シマス

○宮古啓三郎君 チョット補充シテ申上ケマス、花井君ノ御説ニ株主デナイ者が、株ノ名前ヲ借りテ取締役ニナツテ居ルモノガアルノデハナイカト云フコトデアリマシタガ、成程サウ云フ事實ハ吾々モ認メテ居リマス、併ナガラ名前ヲ借りテ取締役ニナツタモノデアツテモ、株ヲ借りモセズ全ク株主デナイ取締役ニナツタ者デモ別ニ變リハナイ、寧ろ株ヲ借りテ取締役ニナツタ人ハ其株ヲ貸シタ人ニ對シテ親切ナラザルヲ得ヌコトニナル、ツマリ自分ノ意思ナ人ノ株ヲ借りテ取締役ニナツタ者ハ、其貸シタ人ニ對シテ親切ナラザルヲ得ヌカラ、ヤハリ無暗ニ拂込ノ請求ヲスルト云フヤウナコトハ是ハ出來ヌ答ニナルノデアリマスカラシテ、株主ニ非ザル者が取締役ニナルヨリ優ルコト万々デアリマス、ソレカラ今一ツ附加ヘテ置キタイノハ罰則ノ點デアリマス、此改正案ノ方デハ非常ノ嚴罰ニ處スルコトニナツテ居タノデアアルガ、此度委員會デ修正シタ通りニシマスルト、罰則ノ點ハヤハリ科料ト拘留トニ云フコトニナル積リデアリマスカラ、サウスルト取締役ニ對スル制裁ガ大ニ緩クナルト云フコトニナリマスカラ、旁々以テ株主デナケレバ取締役ニセヌ方ガ至當デアルト、斯ウ云フ考カラ出タノデゴザイマス

○鈴木總兵衛君 私ハ宮古君ノ説ニ賛成デゴザイマス、尙ツレニ就テ今日ノ現行ノ或ハ市町村會デモ縣會デモ或ハ國會デモ、又纏ッテ營業稅調查會、所得稅調查會、其他各種ノ公ノ職務ニ當ル者ハ悉ク資格ガ定メテアル、今ヤ會社ノ生命トモ謂フベキ財産ヲ掌握シテ、万事ノ取扱ヲナス取締役ヲ他人カラ採ルト云フコトハ、他ノ方トモ權衡ヲ失スルコトニナリマス

○委員長(法學博士鳩山和夫君) 採決致シマス、特別調查會ノ意見ハ削除デアツテ、花井君ハ原案ノ通りト云フ意見デアリマス、先ツ花井君ノ御意見ノ原案ニ賛成ノ方ハ舉手ヲ願ヒマス

舉手者 少數

○松田源治君 第六十三號ノ末項ニ就テ政府ノ言明ヲ得タイノデス、ソレハ百六十三條ノ二ノ第三項ニ訴ヘノ提起及ヒ口頭辯論ノ期日ハ取締役選滯ナク之ヲ公告スルコトヲ要ス下是ハ讀シテ字ノ如ク口頭辯論ノ期日ハ毎回公告シナケレバナラヌヤウニ聞エル嫌ガアルガ、併シ政府ノ解釋スルトコロニ依レバ此口頭辯論ノ期日ト云フモノハ第一回ノ口頭辯論ノ期日ノ謂ニシテ、其後ノ辯論ノ期日ヲ含ンデ居ルノデハナイト云フコト

トデゴザイマスカラ、其主意ヲ此處デ言明シテ貰ヒタイ

○政府委員(法學博士齋藤十一郎君) 御答致シマス、唯今松田君ノ仰セニナリマシタ通り、原案ノ第六十三條第三項ノ口頭辯論ノ期日ト申シマスルモノハ、裁判長ガ指定ヲ致シマシテ訴狀ニ貼付シテアリマス其紙ニ書イテアリマスルトコロノ口頭辯論ノ期日ヲ申スノデアリマシテ、即チ第一回ノ期日ト云フ意味ニ外ナラヌノデアリマスカラ、其事ヲ言明致シマス

○委員長(法學博士鳩山和夫君) 百六十四條ニ左ノ一項ヲ加フト云フノハ、御異議ハアリマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○委員長(法學博士鳩山和夫君) ヲレデハ是ハ調查會ノ報告ノ通りニ決シマス、次ハ第六十八條第七十條、之ヲ議題ニ供シマス、是ハ別段御異議ハアリマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○委員長(法學博士鳩山和夫君) 特別調查會報告ノ通り決定致シマス——第七十六條

○長島鷲太郎君 第七十六條ハ現行法ノ文章デ元來ハ十分デアルト思フノデアリマスケレドモ、併シ此意味ヲモウ少シ明確ニシナイト甚ダ困ルコトガアルノデアリマス、此但書ノ場合ニ於テモ、取締役ガ會社ヲ代表シテ取引ヲナス場合ニ、監査役ノ承認ヲ與ヘタナラバ差支ナイト思フノデアリマスカ、ソレガ此中ニ包含サレテ居ラヌト殆ド最高法衛ニ於テ確定シテ居リマスルガタメニ、百七十六條ノ十分ナル働キスルコトガ出來マセヌ、ソレ故ニ但書——デハアリマセヌ、百六十七條ノ末尾ノ修正通りノ文字ヲ加ヘマスルト、文意ガ十分貫徹スルコトニナリマスカラ、左様ニ修正シタイト云フ考デアリマス

○委員長(法學博士鳩山和夫君) 是ハ調查會ノ報告ニ御異議ハアリマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○委員長(法學博士鳩山和夫君) 其通りニ決シマス、其次ハ第九十條ノ二

○守屋此助君 第九十條ノ二以下總テ財產目錄調製ノ時ニ於ケル價額ニ關スル一切ノ箇條ニ付テ意見ヲ申シマス、是ハ政府案デハ御承知ノ通りニ製作價額竝ニ取得價額ヨリ超過シタルモノハ、絕對ニ財產目錄ヲ作ルトキノ價額ト見ルコトハナラヌト云フ主義ニ書イテアリマス、貴族院デハ取得價格製作價格ハ、二十六條ノ第二項ニ所謂財產目錄調製ノトキニ價額上ツテ居ルコトニハ、價格ヲ上ボスコトヲ得ル、但シ利益トシテ處分ヲナサズアツテ、貴族院ノ修正デハ少シモ意味ヲナサヌ、何故ナレバ會社ノ利益ハ利益トシテ計算スレバ——即チ處分シテコソ利益ガアル、併ナガラ處分スルモノト云フナラバ政府案ト擇フトゴロハ少シモモナクシテ、政府案ヨリ惡イ貴族院ノ修正ガ政府案ヨリ惡イト云フノハ何デアルカト云フト、彼ノ通りデ行キマスレバ、大藏省ノ收稅吏ノ言フ通り、是ハ法律ヲ曲解シテ誅求スル譯デアナイ、法律ハ所得稅ヲ取ルニ付テ何人ガ解釋シテモ、法人ニ對シテ營業稅所得稅ヲ取ルト云フノガ營業稅ノ主義ニナツテ居リマスカラ、サウ致シマスルト會社ノ利益ヲ計算シマスレバ、必ズヤ積立金トナリ或ハ資本金ト見做スト云フコトハモウ議論ノナイコトデ、サウスルト年々歲々會社ハ資本金トシテ營業稅ヲ取ラル、此取ラレタダケハ計算上殖エテモ何モナラヌモノニナリマスカラ、貴族院

ノ諸君ハ茲ニ眼ヲ著ケラズシテ、政府案ヨリヨリ惡イモノヲ御拵ニナッテ居ル、ツレヨリ惡クナッテ居ル、モウ一ツ今度ノ政府案ニ戻ッテ申シマス、會社ト云フモノハ一體公示シテ登記ヲ廣告スル、會社ノ財産狀態ヲ公ケニ示スト云フコトハ日本ノ商法ノ主義デアアル、然ルトコロガ政府案ノ如クスレバ價ノアルモノヲ隱シテ置クト云フコトニナル、取得價額製作價額ハ財産目録ヲ作ルトキヨリ價が上ボッテ居ッテモ現スナト云フコトニナッテ居ル、左様スレバ甲ノ會社ハ財産ガアル會社デアアルカ無イ會社デアアルカト云フコトハ登記ヤ竝ニ會社ノ營業報告會社ノ課狀ト云フヤウナモノヲ見テハ會社ノ狀態ガ分ラヌ、世ノ中ニ公ニシテハナラヌト云フコトニナッテ居ルカラ、ツマリ公ニ示シテ世ノ中ニ一體ニ安心セシメ、信用ヲ高メテモット商業ヲ發達セシメ、工業ヲ發達セシメヤウト云フ根本主義ニ背イテ居ルモノト考ヘマス、ツレ故ニ政府案ニ反對、貴族院ノ案ニモ勿論反對ヲ表スルモノデアリマス、其關係ノ條文等ハ申上ケマセヌ、釋迦ニ説法ハ致サヌデアリマス

○委員長(法學博士鳩山和夫君) 守屋君ノ説明サレタ通り調査會ノ御意見ニ御異議アリマセヌカ

(異議ナシト呼フ者アリ)

○委員長(法學博士鳩山和夫君) 其通り決シマス、從テ第九十一條中「前條」ヲ「第九十條」ニ改ムルト云フハ整理ノ結果デアリマスカラ、御異議ハアリマスマイ、其次ハ第九十四條中第一項ヲ削ル、是モ整理ノ結果デアリマス、次ニ第九十四條ノ二ヲ削ル、百九十五條モ削リマス、是モ整理デアリマスカラ御異議ハナイト考ヘマース、ツレニ決シマス、次ニ第二百一十一條、是モ調査會ノ決定通り御異議ハナイト考ヘマス、其通り決シマス、其次ニ第二百二十七條中云々、是モ亦整理ノ結果デアリマスカラ御異議ハナイト存シマス、其通り決シマス——第二百四十二條、是ハ前二遍決シマシタ問題デアリマスカラ、御異議ガナイト思ヒマスカラ調査會ノ報告通りニシテ宜シウゴザイマスカ

(異議ナシト呼フ者アリ)

○委員長(法學博士鳩山和夫君) 其通り決シマス、次ハ二百六十一條、以下罰則ニ關スルモノヲ總テ議題ニ供シマス

○松田源治君 政府案ニ修正ヲ加ヘタル趣意ヲ簡單ニ言明致シテ置キマス、之ヲ申上ケマスレバ政府案ハ第六十一條ニ於テ刑法ノ背信罪ヲ擴張致シマシテ、刑法ノ背信罪ニ當ラナイ類似ノ背信罪ヲ刑法罰ヲ以テ處スルト云フノデ、五年以下ノ懲役又ハ五十圓以下ノ罰金ニ處スル、其他二百六十一條ノ二、三、四、五、六、七ニ於テ懲役禁錮竝ニ罰金刑、所謂刑法ノ刑罰ヲ以テ取締役トカ、發起人トカ、監查役トカ、檢査役支配人等ヲ罰スルト云フ規定ヲ設ケタノデス、斯カル規定ハ刑法ニ於テ背信罪ノ規定ガアリマスカラ、其背信罪ノ規定ニ當ルトコロノ行為ヲ今申上ケマシタル人間ニ科スルコトハ、刑法ノ罰ニ於テ足ルデアリマス、其他刑法ニ於テハ文書偽造罪横領罪等モアリマスカラ、是ハ別ニ商法ニ於テ嚴重ナル制裁ヲ設ケル必要ハアリマセヌ、依テ此刑事罰全部ヲ削除致シマシテ、現今ノ二百六十一條及ヒ二百六十二條ヲ復活シテ、其復活シタ規定ニ新ニ株式申込證ヲ作ラヌトカ、社債申込證ヲ作ラヌトカ、事務報告書ヲ作ラヌトカ、即チ二百五條第一項ノ規定ニ違反シテ社債券ヲ發行シタト云フヤウナモノハ、過料即チ商事罰ニシテ商法ニ規定スル必要ハナイ、他日必要ガアッタラ其時ニ讓ルト云

フ理由ヲ以テ、原案ヲ削除シ、現行法ヲ復活シタデアリマス

○法學博士花井卓藏君 松田君ノ意見ニ反對致シマス、松田君ノ御述ベニナリマシタ通りノ意見ヲ本員モ有シテ居ッタデアアル、本員ノ意見ハ此案起草ノ際ニ破レマシタノデアアル、故ニ私ノ所論ト致シマシテハ、松田君ノ意見ニ贊成シタイノデゴザイマスレドモ、其所論ノ貫徹セラルルマデハ或犯罪ハ横行濶歩スルト云フコトニ相成ルコトヲ憂フルガ故ニ、私ハ遺憾ナガラ所論ヲ枉ゲテ原案ニ贊成ラシタイノデアリマス、刑法罰ハ刑法系ノ法律ヲ以テ統一シタイト云フコトハ、私ノ豫テ持論デアアル、併ナガラ今日直ニ行ヒ得ラザルヲ遺憾トスル次第デアリマス、而シテ本條ハ事實ガ產ミタル規定デアルト云フコトノ御諒承ヲ乞ハナケレバナラヌデアアル、此條文ハ事實問題ト致シマシテハ、日糖事件ノ預合ト云フモノガ產ミタル規定デアアルデアリマス、松田君ガ刑法ニ幾多ノ罰ノ規定ガアル、文書偽造ノ罪モアル、横領ノ罪モアルト云ハレマシタガ、成程其通りデゴザイマスガ、所謂預合ナルモノハ文書偽造ヲ以テ律スルコトモ出來ナイ、横領ヲ以テ律スルコトモ出來ナイ、然ラバ背任ノ罪即チ刑法二百四十七條ヲ以テ罰スルコトヲ得ルカト云ヘバ、ツレモ出來ナイノデアアル、其出來マセヌ所以ハ法文ノ上ニ明白デアリマス、法文ハ明白ニ「自己若ハ第三者ノ利益ヲ圖リ又ハ本人ニ損害ヲ加フルノ目的ヲ以テ」ト云フ文字ヲ用井デアリマス、ツレ故ニ預合ハ此文字ノタメニ遮ラレテ、刑法ノ上ニ於テ罰スルコトガ出來ナイノデアリマス、日糖會社ニ何ガタメニ此ノ如キ犯罪事件ガ起リタノデアアルカ、多數ノ株主ハ何ノタメニ苦シテ居ルノデアアルカト云ヘバ、所謂預合ニ起因シテ居ル、即チ商法第二百六十一條ニ規定セラレタル背任行為ヲ預合ノ名義ヲ以テ會社ノ重役ガナシタルガタメニ、原因シテ居ルト云フコトハ爭ノナイ事實デアリマス、多クノ立法ハ必ズシモ事實ヨリ生レテハ居ラヌ、然ルニ獨リ二百六十一條ニ至ッテハ現在ノ事實ガ自ラ生ミタルコロノモデアアル、誠ニ已ムヲ得ザルノ規定デアアル、刑法罰ハ刑法ニ讓ルベキカ立法ノ體裁論トシテ其當ヲ得テ居ルデゴザイマセウ、併ナガラ今日唯今刑法上其企テノ出來ル機會デゴザイマセヌカラシテ、此案ヲ削ラレル曉ニ於テハ、日糖會社ノ破綻ノ大原因トナリタルコロノ預合ヲ商法ガ免許シタルコトニナル、即チ犯罪ノ免許ヲ衆議院ガ聲明スルト同ジコトニナリマス、日糖會社ノ破綻ニ關シマシテハ、法律社會ニ於テモ、政治社會ニ於テモ、經濟社會ニ於テモ、殆ド何人モ司法處分ニ非難ヲ容ルルモノハナカッタノデアアル、併ナガラ遂ニ此點ニ關シテハ無罪ヲ言渡サザルヲ得ザルニ至ッタデアアル、斯ノ如キ事柄ヲ正當ナリト衆議院ガ認メルナラバ格別、商法調査委員ガ認メルナラバ格別デゴザイマスガ、然ラザル以上ハ他ノ條文ヲ削ルニ付テハ物ニ依リ事ニ依リマシテ本員ハ贊成致シテ宜シウゴザイマスケレドモ、最モ憂フベキ最モ危惧ノ念ニ堪ヘザル此預合ナドト云フコトヲ、法律ガ免許スル事柄ハ、斷ジテ可ナラザルコトヲ私ハ信ジテ居リマス(「ヒヤ」ト呼フ者アリ)ツレデゴザイマスカラ、此罰則ハ勿論保タナケレバナラヌデアリマス、本員ハ松田君ノ立法體裁論ニ付テハ勿論同意デアリマスガ、是ガタメニ犯罪ヲ一時タリトモ免許スルコトハ宜クナイト信シマス、而シテ斯ノ如キノ規定ハ何レノ國ニ於テモ常ニ刑法ニ讓ラレデ商法典ニハ掲ゲラレナイカト申シマスレバ、多數ハ刑法罰ハ刑法、行政罰ハ行政法、商事罰ハ商法ト云フガ如ク分界ガ明白ニ相立テ居ナイノデゴザイマス、寧ロ之ヲ商法ニ讓ッテ居リマス、又商法ニ書キタレバトテ立法ノ疵ニナル程ノ非難トハ私ハ相成ラヌト

信ヲマス、故ニ更ニ御議論ガゴザイマスレバ承ッテモ宜シウゴザイマスガ、本員ハ此點ニ對シマシテハ何處マデモ原案ヲ維持シタイノデアリマス、但シ此自由刑ノ五年ト云フノ四年ニスルトカ、二年ニスルトカ、一年ニスルトカ、之ヲ減ズル修正ニ付キマシテハ固ヨリ異存ハゴザイマセヌケレドモ、自由刑モ財產刑ト共ニ撰擇刑ノ其一ツニ定ムルト云フコトハ存ジタイノデアリマス、而シテ事ニ當ル者ヲシテ常ニ警戒ノ意ヲ起サセシメテ、日精事件ノ起ラサルヤウニ株主ニ安心ヲ與ヘタイ、經濟界ノ紊亂ヲ起サシメザルヤウニ致シタイト云フ希望ヲ以テ原案ニ贊成シ、松田君ノ結論ニ反對スルモノデアリマス

〔採決々々〕ト呼フ者アリ
○委員長(法學博士鳩山和夫君) 調査會ノ意見ト反對意見ト兩方出テ居リマス、花井君ノ說ニ御同意ノ諸君ノ舉手ヲ請ヒマス

舉手者 少數
○委員長(法學博士鳩山和夫君) 少數デアリマス、ソレデハ調査會ノ報告ニ付テ採決致シマス

〔異議ナシ異議ナシ〕ト呼フ者アリ
○委員長(法學博士鳩山和夫君) 調査會ノ報告ハ二百六十一條並ニ二百六十二條ニ互ニ居リマスガ……

○法學博士花井卓藏君 今ハ罰則全體ガ議題ニナッテ居リマスガ

○委員長(法學博士鳩山和夫君) 全體ガ議題ニ供シテアリマス、マダ御意見ガアリマスガ

○法學博士花井卓藏君 他ノ條文ニアリマス

○委員長(法學博士鳩山和夫君) 質問ノ形ニ依テ御發議ニナッテモ宜シウゴザイマス

○法學博士花井卓藏君 私ハ此二百六十一條ノ五、ソレカラ二百六十一條ノ六、ソレカラ二百六十一條ノ七、二百六十一條ノ八、此修正ニ對シテ反對デアリマス(「ドッ

チヘ反對デス」ト呼フ者アリ) 調査會ノ報告案ガ議題ニナッテ居ルカラ、ソレニ反對タルコト明カデアリマス(「政府案ニ贊成スルコトニナルノダ」ト呼フ者アリ) 今ハ調査會ノ報告案ガ原案ニナッテ居リマスガ、ソレニ反對ト言ヘバソレニ反對ト云フコトガ分ッテ居リマス、議論ハ多ク申上ゲヌデモ分ッテ居ラウト存マスカラシテ、私ハ詳細ニ涉ッテ申上ゲマセヌガ、斯ウ云フコトヲ御注意ヲ願ヒタイノデアリマス、會社ト云フモノハデス、而シテ又會社重役ト云フモノハデス、行政ノ機關並ニ立法ノ機關及ヒ一私人ヨリモ犯罪ノ外ニ獨立スル特權ヲ有スル結果ニ相成ルト云フコトガ、即チ此調査會ニ依リテ削ラレタル大趣旨ナリト斷言致シマス、而シテ一モ理論ハ貫イテ居ラヌ、ソレニ私ハ反對スルト云フニ過ギヌデアリマスガ、斯ノ如キノ修正ハ公平ナル世間ハ決シテ迎ヘマイト思フノデアリマス、他人ノ株券ヲ使用シテ詐欺ノ行爲ヲ働イテ、而シテ議決權ヲ行ッテ、株主ニアラズシテ株主ノ權利ヲ行使シテサウシテ被ムルベキ害ト云フモノハ、之ヲ小ニシテハ株主ノ全體、之ヲ大ニシテハ國家ノ經濟、而シテ罪トナラズ、是ガ二百六十一條ノ五ノ特別調査會ノ報告案デアリマス、二百六十一條ノ六ハ議決權ノ行使ニ關シテ賄賂ヲ收受シ要求シ若クハ約束シタルモノハ公務員デアリシナラバ、官吏デモ議員デモ町村長デモ町

村會議員デモ、甚シキニ至リテハ民事訴訟法ニ規定サレタル仲裁人スラモ罪ヲ受ケネハナラヌデアリマス、然ルニ會社タケハ無責任デアル罪セストハ誠ニ言語道斷デアル、尤モ重キ背任行爲モ罪ノ上ニ横行濫歩シテ、犯罪勝手次第ナル規定デアルカラ、賄賂ノ如キ些細ナル事ハ勿論、無責任ニシテ宜イト云フ趣旨デアリマセウ、實ニ感服セラレマセウ、ソレカラ二百六十一條ノ七及ビ二百六十一條ノ八ニ付テハ、唯今申上ゲマシタルコロノ二百六十一條ノ六ト同シ關係ニナリマスガ理由ハ多ク申シマセヌ、要スルニ背任行爲ヲ行フモ若クハ又不正ナル議決權ヲ行フモ、若クハ又賄賂ヲ授受シテモ罪トハナラヌ、他ノ關係ナリセバ公ケノ機關デモ之ヲ罰スル、又公ケノ機關ニ準ズベキモノデモ之ヲ罰スル、一私人デモ之ヲ罰スル、然レドモ會社ハ獨立超然何等ノ不正行爲アルモ之ヲ罰セストハ特別調査會ノ報告デアリマス、本員ハ商法ハ商法ノ規定ヲ以テ商事事項百般ノ保護ニ努メナケレバナラヌコト論ヲ俟タヌデアル、刑罰ノ以テ保護ヲ助クルモノ微リセバ奸黠ナル資本家或ハ投機的ニ會社ノ事業ヲ營ムモノ、不正惡辣ナル行爲ヲ矯正スル途ハ杜絶サレテシマフデアル、刑罰ヲ輕ウスルト云フ點ニ於テハ本員ハ異存ハナイ、併ナガラ全部法刑罰ヲ削除スルト云フコトニ致シマシタナラバ、實ニ恐ルベキ結果ヲ生ズルヲ憂フルデアル、公ケノ機關ガ罰セラル、一私人モ罰セラル、而シテ其中間ニ在ル會社及ビ會社ノ重役而シテ被害ノ度ハ公機關ガ爲スヨリモ一私人ガ爲スヨリモ、最モ重大ナル影響ヲ受クベキモノニナルニ拘ラズ、之ヲ全然不問ニ付シ去ルト云フコトハ如何ニモ私ハ穩當ヲ缺クデアラウト思フ、成程刑法ニ讓レバ宜イト云フ論ガアルカモ知レヌガ、是ハ立法ノ形式論——ソレハ私ハ贊成デゴザイマスガ、今日唯今其規定ノ存セザル限リハ、商法ヲ以テ此種ノ犯罪ニ關スル規定ヲナスハ最モ必要ナリト思フ、此故ニ其他ノ各修正ニ關スル調査會報告案ニハ姑ク贊成スルトシテモ宜ウゴザイマスガ、背任ノ規定ト不當議決權ノ行使ト賄賂ノ授受タケハ嚴重ニ罰セナケレバナラヌト信ズルデアリマス、ソレデケラ申上ゲマシテ、其他ハ報告案ニ對シ別ニ意見ハ申述べマセヌ、罰則タケハ慎重ノ御考慮ヲ以テ尙一研究ヲ願ヒタイト思フデアリマス

○委員長(法學博士鳩山和夫君) チョット花井君ニ伺ヒマスガ、二百六十一條ノ七ト六ト……

○法學博士花井卓藏君 五、六、七、八デス、理由ハ同ジデアリマス

○松田源治君 チョット簡單ニ趣意ヲ辯明シテ置キマス、第二百六十一條ノ五ハ其行爲ニシテ詐欺取財ニ觸レルヤウナル場合ニ達スルトキハ、刑法ニ於テ罰スベシ、ソレ以外ノ行爲ニ至リテハ刑罰トシテ罰スルノ價値ナシ、ソレカラ二百六十一條ノ六モ、其行爲ニシテ脅喝取財ニ當ルトキハ罰スベシ、其以外ノ行爲ハ國家ハ刑罰ヲ以テ臨ム必要ナシ、二百六十一條ノ七ハ官吏公吏吏准官公吏吏罰スル必要ガアリ、或ハ一私人モ罰スル必要ガアリマセウケレドモ、會社ハ斯カル行爲ヲシテモ罰スル必要ハナイ、且ツ必要ガアッテモ是ハ刑法ノ改正ヲシテ刑法典ニ讓ッタ方ガ主義ガ一貫スルト考ヘマス、凡ソ我ハ法ヲ以テ人ヲ正直タラシムルコトハ出來ナイ、如何ニ政府ガ嚴罰主義ヲ執ッテモ犯罪人ハ減ラヌデアリマス、新刑法ニ於テ犯罪ノ種類ヲ擴張シ或ハ背任罪ノ行爲其他ノ規定ヲ拵ヘマシタケレドモ、新刑法ヲ行ッテ以來犯罪人ハ殖エテ居ルデアリマス、是ハ教育ノ力社會ノ制裁ニ委シテ人ヲ正直ニスル方ガ餘程效果ガアルト考ヘマス、惡イ人ハ

榮エナイノデアル、惡イ不正ノ會社ハ決シテ繁盛ニナラヌノデゴザイマスカラ、是ハ自然ノ制裁ヲ以テ足レリトシテ法ヲ以テ臨ムト云フコトハ却テ宜クナイト思ヒマスカラ、斯ル行爲ハ自然ノ制裁ニ一任シテ刑法罰ヲ以テ威嚇スル必要ハナイト云フタメニ、我々ハ削除シタイノデアリマス

○守屋此助君 此點ハ此度政府案ヲ出サレテ居ルトコロノ骨子ノ一ツデアルト思ヒマス、ソレカラ又花井君ハ刑事法ニ付テハ世ノ中ニ長者トシテ敬セラレテ居ル人デアアル、就テハ此事柄ハ結論ハ極メテ居ッテモ、我々ハ原案竝ニ花井君ノ言論ニ對シテハ敬意ヲ拂ッテ慎重ニ申上ケテ見タイト思ヒマス、花井君ノ言ハレル如ク此刑罰ヲ商法ニ置クト云フコトノ原因ヲ爲シタルモノハ、砂糖會社ノ預合是ナリ——預合是ナリデアリマスガ、此預合ノ本ハ大藏省ガ爲シタルモノデアアル、大藏省ニハ明治政府ノ歷代ノ有力ナル大臣アリ、其他次官以下濟々多士デアアルケレドモ、世間ノ保證ニハオ前ノ會社ノ株券ヲ持ッテ來レバ大藏省ガ保證ニ取ッテヤルゾト教唆シタルデアアル、教唆罪ガ罰セラレラバ大臣次官ガ職村ト一緒ニ懲役ニ行ッテ宜イト私ハ彼時ニ言ッタルデアアル、ソレハサウデアリマスガ、大藏大臣ヤ次官ガ犯罪ヲ教唆スルト云フノハ彼ヨリ外ニ例ガ無いデアアル、サウ云フヤウナ三十年カ五十年ニ一度シカナイ事柄ノタメニ、千百ノ會社ニ畏怖心ヲ起サセルヤウナ法律ヲ指ヘル必要ハ無いト思フ、ソレカラアトノ二百六十一條ノ五、六、七、八ハ花井君ノ言ハレルコトガ幾ラカ理由ガアルヲ聞ユルデアリマスガ、又此二百六十一條ノ五ト云フヤウナ事柄ヲ今日マデシテ例ヲ、私ハドウモ淺學不才ニシテ見ナイ、株主デナイ人間ガ株主總會ニ行ッテ、己ハ株主デヤト云フコトヲ言ッテ害ヲ及ボシテ居ルト云フコトヲ私ハ存シマセヌ、斯ウ云フ犯罪ヲシタル奴ハ罰スルト云フヤウニ、サウマデドウモ法律ノ上ニ字ヲ竝ニテ樂マナイデモ宜クハアルマイカ、左様ナドウモ樂ミハ止シタラ宜カラウ、申スマデモナク必要アッテコソ刑事罰ヲ指ヘル必要ガアル、ソレカラ又六、七ノ方ハ或場合ニハ松田君ノ言ハレル通り今日ノ刑法罰セラレルモノモアリマスガ、洩レルモノモアリマセウ、洩レルモノモアリマセウガ、此ニ於テカ是ハ法律家以上ノ觀念ガ此處デ一ツ持ッテ居ラナケレバナラヌ、諸君ニ御願ヒガアル、此度ノ商法ニ此刑事罰ト云フモノヲ置イタト云フコトハ非常ナル不評判ト相成ッテ、世ノ中ノ人ハアレダケデモ會社ニハ重役ハ出來マセヌ、アナタノ會社ノ重役ニナルコトハ厭ダカラ會社ヲ發起致シマセヌ、斯様ナ觀念ヲ資本家ガ皆懷イテ、株券ヲ下ケテ公債證書ガ高クナッテ、世ノ中ノ殖産興業ヲ阻碍スルコトヲ活眼アル政治家ハ見ナケレバナラヌ、是ハ政治家ノ生キタ問題デアアル、コ、ラヲ見ル眼識アッテ始メテ生キタ政治家ガ出來ルデアアル、若シ是ガ學校ノ講堂デ講釋スルノナラ、アノ先生ハ好イコトヲ仰シヤルト云フノデ、私ハ月謝ノ十層倍モ拂ッテ敬意ヲ拂フ、併ナガラ明治四十四年ノ今日日本帝國ニ斯様ナモノヲ置クガ善イカ惡イカト云フコトハ、立法院ノ一人トシテ守屋此助ハ先ヅ是ハ削除シナケレバナラヌ、世ノ中ニ安心ヲ與ヘテ、殖産興業ノ發達ヲ助ケタイト思ヒマス、先ヅ是ダケ述ベテ置キマス

○委員長(法學博士鳩山和夫君) 採決シマセウ

○法學博士花井卓藏君 委員長……

○委員長(法學博士鳩山和夫君) 委員會デスカラ發言ノ權利ハアリマスケレドモ、大抵解ッタルデヤアリマセヌカ

○法學博士花井卓藏君 解ラヌト思ヒマス

○委員長(法學博士鳩山和夫君) 解ラナケレバ新規ノ人ニ許シマセウ、鵜澤君

○法學博士鵜澤總明君 私ハ贊成ノ理由ヲ一言述ベテ置キタイ、私ノ理由ハ此罰則ヲ直チニ惡イト云フノデハナイ、併ナガラ此商法ノ改正ニ依テ民法ノ營利法人モヤハリ會社ニハナッテ居リマスケレドモ、マダ民法ニハ營利法人以外ニ社團モアリ、財團モアルデアリマス、ソレ等ニ依テ相當ニ他人ノ事務ヲ管理スルコトニ當ルヤウナ人ガアデ、是モ隨分莫大ナ金ヲ取扱ッテ居ルヤウナコトモアル、イロ／＼信用關係ニ立ッテ居ルデアリマスガ、サウ云フモノト斯ノ如キモノトノ間ノ區別ヲ設ケル趣旨ト云フモノガ甚ダ私ハ不明デアルト思フ、若モ罰則ヲ設ケルトコロノ必要ガアルナラバ、ヤハリ民法ニモ商法ニモ共通シテ徐ロニ考ヘテ罰則ヲ設ケタ方ガ宜カラウト思フ、斯ウ云フヤウニ一ツハ考ヘテ居リマス、ソレカラ此二百六十一條ノ五、六、七ト云フモノハ、外國ノ會社ニス様ナ規定ガアルカモ知レヌト思フガ、ソレハ外國ニ於キマシテハ會社ト政府ノ區別ガ餘リ明確デナイノデアリマシテ、例ヘバ會社ニモ政府ト云フ言葉ヲ澤山使ッテ居ル、會社ノ定款ヲ見ルト云フト悉ク政府ト云フヤウナ字ヲ書イテアッテ、政府ノ役人ト云フ意味ト會社ノ役人ト云フ意味ノ間ニ區別ノナイヤウナコトデアリマシテ、自然自治ノ發達ヲシテ居ル國柄ヲ見マスト、此間ニ事務ヲ處理スルノ心掛ハ自ラ違ッテ居ル、日本ノ實業界ハ遺憾ナガラ其點ニ於テ外國人ホドマダ用意ガ足リナイト私ハ思フデアリマス、ソレデ法律ハ或場合ニ於キマシテハヤハリ實際ノ狀況ヲ逐フテ參ルコトガ必要デアアル、餘リ實際ノ狀況ガ懸放レテ居ルト云フヤウナコトニナリマスルト、折角出シタ法律モ爲ニ匡正スルコトガ出來ヌデ、反ッテ害ヲ與ヘル事柄ニナリマスカラ、先ヅ是等ノ事柄ニ付テハ規定ガナイノ宜イニシテモ、尙暫ク御考ノ上デ是非必要トアルナラバ、民法商法共ニ共通ノ案ヲ作ッテ御出シタル方ガ却テ宜イト思ヒマス、其意味ニ於テ私ハ是ハ否決致シタイ

○法學博士花井卓藏君 ちヨット一言シタイ、駁論ハ總テ致シマセヌ、會社及會社ノ重役ハ犯罪ニ關シ神聖不可侵ノ權ヲ有スルト云フノガ特別調査委員會ノ報告ナリト斷言シマス、爭フベキ必要ガアレバ爭フシ、又辯明スベキ必要ガアレバ辯明シテモ宜シイガ、是ダケノコトヲ申シマス、會社及會社重役ハ犯罪ノ前ニ神聖不可侵ノ權ヲ有ス、是レ特別調査會ノ報告ナリト斷言致シマス

○委員長(法學博士鳩山和夫君) ドウカ靜肅ニ願ヒマス、特別調査委員會ノ報告ニ付テ花井君ノ意見トシテ聽イトキマスケレドモ、花井君ノ意見ニ依テ特別調査會ノ報告ハ少シモヤハリ影響ハ受ケナイノデアリマス、御意見トシテワレダケノ發言ヲ許シテ置キマス

○法學博士花井卓藏君 私ノ反對意見ナノデス……

○委員長(法學博士鳩山和夫君) 採決シマス、二百六十一條ノ五、六、七、八是ニ付テ花井君ニ同意ノ諸君ノ舉手ヲ乞ヒマス

○委員長 少數

○委員長(法學博士鳩山和夫君) 其他ハ特別調査會ノ報告ニ付テ採決シマス、之ニ同意ノ諸君ノ……

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○委員長(法學博士鳩山和夫君) 其通りニ決定致シマス、次ハ三十二條ニ左ノ一項ヲ加フ、運送取扱人ノ場所デゴザイマス

○片岡直溫君 此運送取扱人ノ修正ヲ茲ニ出シマシタノデアリマスルガ、是ハ今實際ノ事實ガ物品ヲ甲地カラ乙地ニ送りマシタル時分ニ、通常此運送取扱人ト云フモノガ受取書ヲ發シテ居ルデアリマス、サウシテ其運送取扱人が取扱タモノニ對シテ其地ノ銀行ガ爲替ヲ取組ンデ、ソレヲ乙地ノ爲替ヲ取組ム先ヘ通知スル、斯ウ云フ風ニナッテ居テ、實際運送人ト云フモノガ此扱ヲシテ居ル所ガ商法デハ此取扱人ト云フモノヲ認メテ居ラヌデアリマスルカラシテ、之ヲ認メサシテ置カナイト實際ノ事柄ト相反スルデアラウト云フトコロヨリ、此修正ガ出來タ譯デアリマス

(「贊成」ト呼フ者アリ)

○委員長(法學博士鳩山和夫君) 調査會ノ報告ニ御異議ハアリマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○委員長(法學博士鳩山和夫君) 其通りニ決定致シマス、次ハ三百六十七條ノ三○加瀬禮逸君 是ハ三百六十七條ノ三ヲ赤イ字ノヤウニ修正シタイ、詰リ拒絶證書作成ノ場合ニ便利ヲ得セシメタイト云フノニ歸著スルデアリマスガ、質入證券ノ所持人ノ辨濟ヲ拒マレタ場合ニ於キマシテ、若シ預リ證券ノ所持人ニドウシテモ會フコトノ手段ヲ取ルト云フコトニ致シマスルト、餘程取扱上ニ於テ至難ナ場合ガ起リマスカラ、此場合ニ於キマシテハ倉庫營業者ヲ支拂擔當者ト看做シテ、サウシテ是ニ基テ拒絶證書ノ作成ヲセシメタ方ガ便宜デアラウ、斯ウ云フ意味合カラ左様ニ致シタノデアリマス

(「贊成」ト呼フ者アリ)

○委員長(法學博士鳩山和夫君) 特別調査會ノ報告ニ御異議アリマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○法學博士花井卓藏君 當リノ「タ」ノ字ハ要ラヌカ

(「タ」ノ字ハ要ラヌト呼フ者アリ)

○政府委員(法學博士齋藤十一郎君) 現行法ハ「タ」ハ使ッテ居リマス

(「委員長ニ一任スルカラ宜シイ」ト呼フ者アリ)

○委員長(法學博士鳩山和夫君) 三百八十三條ヲ讀題ニ供シマス
○片岡直溫君 此庫荷證券ト云フモノハ今回貴族院ノ修正ニ依リマシテ認ムルコトニナッタデアリマスガ、預リ證券ト云フモノガ已ニ今度ノ修正ニ依リマシテ即チ原案ニ依リマシテ二百八十條ノ二ニ於テ期日以前ニ於テノ處分ヲ許シテ居ルデアリマス、而シテ庫荷證券ト云フモノヲ今度認ムルニ拘ラズ、二百八十條ノ二ト權衡ガ合ハヌデアリマスカラ、之ヲ均シク權衡ヲ合ハスヤウニ致シタイト云フ趣意ニ外ナラヌデアリマス、是デケ報告致シテ置キマス

(「贊成」ト呼フ者アリ)

○委員長(法學博士鳩山和夫君) 片岡君ニ依テ説明セラレタ如ク、調査會ノ報告ニ御異議アリマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○委員長(法學博士鳩山和夫君) 其通り決シマス、次ハ四百四十二條

○片岡直溫君 是ハ別ニ説明ハナクテモ宜シカラウト思ヒマスガ、日本ノ新領土ガ段々廣クナリマシタメニ、斯ク修正シナケレバナラヌト云フコトデアリマス

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○委員長(法學博士鳩山和夫君) 次ハ四百五十二條

(「四百五十二條ハ削除」ト呼フ者アリ)

○委員長(法學博士鳩山和夫君) 是ハ削ルコトニナリマス、四百五十三條
○小川平吉君 四百五十三條、是ハ支拂地支拂人ノ住所地ト同一ナル場合ニ於テモ支拂擔當者ト云フモノヲ別ニ定ムルコトガ出來ルト云フコトニ致シタデアリマス、現今日本東京アタリデモ自分ノ住所地ノ銀行ニ支拂地ヲ定メテ置イテ、サウシテ其銀行デ支拂ハセルト云フヤウナ慣例ニナッテ居リマスカラ、其銀行ヲ以テ支拂擔當者トスルコトガ出來ルヤウニシテ、ソコデ手形ヲ停止スレバ宜シイト云フ風ニ、實際ノ事情ニ適當シタ規定ヲ設ケルガ至當ト考ヘマス

(「贊成」ト呼フ者アリ)

○委員長(法學博士鳩山和夫君) 四百五十二條、四百五十三條、共ニ調査會ノ報告通り御異議アリマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○委員長(法學博士鳩山和夫君) 其通り決シマス、次ハ四百七十二條、是ハ整理ノ結果デアリマスカラ御異議ナイト思ヒマス、四百九十條モ整理ノ結果、御異議アリマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○委員長(法學博士鳩山和夫君) 五百二十六條、是モ整理ノ結果デゴザイマス、御異議アリマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○委員長(法學博士鳩山和夫君) ソレカラ五百三十八條ニ唯今御廻シテアル報告書ノ中ニ無イ修正ガ一ツアル

○松田源治君 趣旨ヲ辯明シテ置キマス「千圓以下ノ罰金ニ處ス」ト云フヲ「五圓以上千圓以下ノ過料ニ處ス」罰金ヲ過料ト換ヘタ、是ハ商法ニ刑法罰ヲ入レナイト云フ主義ヲ貫徹スルタメニ罰金ヲ過料ト換ヘタノデス

(「贊成」ト呼フ者アリ)

○委員長(法學博士鳩山和夫君) 其通り決シマス、次ハ五百三十七條、是モ整理ノ結果デアリマスカラ御異議ナイト認メテ宜シウゴザイマスカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○委員長(法學博士鳩山和夫君) ソレカラ次ハ附則全部ヲ讀題ニ供シマスガ、此附則ノ修正ハ總テ整理ノ結果デアリマスカラ……

○法學博士花井卓藏君 皆整理ノ結果デスカ

○委員長(法學博士鳩山和夫君) 皆整理ノ結果デス、御異議ハアリマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○委員長(法學博士鳩山和夫君) ソレデハ調査會ノ報告通りニ決定致シマス

○宮古啓三郎君 商法ノ方ハ是テ終ルセウカラ、私ハ政府ノ意見ヲチヨット伺フテ置キタイコトガアル、ソレハ此商法ノ改正案ニモアルシ、前ノニモアルガ、例ノ過料ノ規定デス、此過料ニ時効ノ規定ガナイタメニ何時マデ經テモ過料ニ處セラル、ト云フ虞ガ今日アルノデス、如何ナル法律行爲ニ對シテモ時効ノ規定ノナイト云フノハ無イ譯デアリマスカラ、此過料ダケニ對シテ時効ノ規定ノナイト云フノハ一ノ大ナル缺點デアラウト思フ、法律ノ不備デアラウト思フデアリマスカラ、是ハ政府ニ於テ時効ヲ設ケル御意見ガアルヤ否ヤ、又此時効ヲ設ケナイト云フコトガ缺點アルコトヲ御認ニナルヤ否ヤ、其邊ニ對シテ政府ノ御意嚮如何ト云フコトヲ御伺シテ置キマス

○政府委員(法學博士齋藤十一郎君) 御答ヲ致シマス過料ヲ科シテアリマスル行爲ニ付テ過料ニ處スルカ否ヤト云フ裁判ヲ致スニ付キマシテ、時効ニ當ルベキ規定ガナイト云フ御言葉デゴザイマスルガ、是ハ仰ノ通りニ獨リ此商法改正案ハカリニ限ツテ居ル問題デゴザイマセヌシ、現行商法ハカリニ限ツテ居ル問題デナクシテ、過料ヲ科シテアル總テノ法規ニ關スル問題デ、餘程廣イ問題デアリマス、此點ニ付キマシテハ政府ニ於キマシテモ御注意ニ依リマシテ精々調査ヲ致ス考テ居リマス、ソレダケノコトヲ申上ゲテ置キマス

○委員長(法學博士鳩山和夫君) 商法施行法中改正法律案全部議題ニ供シマスカ、是ハ罰則ヲ附シタ結果デゴザイマシテ整理デゴザイマス

(「否決」ト呼フ者アリ)

○委員長(法學博士鳩山和夫君) 是ハ調査會ノ報告通り決定シマス、非訟事件手續法中改正法律案

(「是モ整理」ト呼フ者アリ)

○委員長(法學博士鳩山和夫君) 是モ整理ノ結果デアリマシテ、御異議アリマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○長島馨太郎君 私ハ希望ガゴザイマス、此修正ノ條文ガ隨分多數ニ互テ居リ、又字句ノ直サナケレバナラヌ點ガアラウト思フ、是等ハ總テ委員長ニ一任シタイト思ヒマス

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○委員長(法學博士鳩山和夫君) ソレデハ其通り決定致シマス、チヨット御待チ下サイ、司法大臣ガ何カ御話ガアルサウデス

○司法大臣(子爵岡部長職君) 一言述べ置キタイト存ジマス、本案ハ前日本委員會ニ付託サレマシタ以來、日ヲ重ネテ審査ヲ繼續致サレ、又特別調査會ニ於テモ審議ヲ遂ゲラレ、本日委員會ノ決議ヲ見ルニ至リマシタノデアリマス、本委員會ニ於キマシテ唯今決議サレマシタトコロノ種々ノ事項ニ付キマシテハ、曩ニ貴族院ニ於キマシテモ、委員會ニ於キマシテ慎重ノ審議モアリ、又政府ニ於テハ其意見ノアルトコロ十分ニ説明致シマシタ譯デアリマス、而シテ本日日本委員會ニ於テ多クノ條項ヲ修正ニ相成リマシタノデアリマスガ、唯今申上ゲタ通りノコトデアリ、又特別調査會ニ於テモ政府委員ヨリ詳シク政府ノ意見ノアルトコロハ申上ゲテ置キマシタガ、甚ダ政府ト致シマシテ遺憾デアリマスカ、今日此場ニ於テ唯今決議ニナリマシタトコロノ大體ニ付テ、御同意ヲ表スルト云フコトマデヲ明言ヲ致シマスルコトノ出來マセヌノハ甚ダ遺憾ニ思ヒマス、而シテ終リニ臨ン

デ一言申シマスガ、連日委員諸君ニ於カレテハ、非常ナル熱誠ヲ以テ斯ク本案ヲ調査サレタト云フコトノ御苦勞ニ對シテハ、感謝ノ意ヲ表シマス

○齋藤二郎君 司法大臣カラ唯今鄭重ナル御挨拶ガアリマシタガ、私モ此場合一言申上ゲマス、私ハ此委員會中デ最モ不勉強デアリマシタ、又多少醜態モアツタデアリマスカ、今後過ヲ改メテ他ノ委員會ニ於テ勉強スル積リデアリマス、一言申上ゲテ置キマス

○委員長(法學博士鳩山和夫君) 委員會ハ散會致シマス

午後二時五十二分散會